

Dance Drill All Japan Competition 2020

Japan Dance Drill Championship

実施要項

1. 大会名称 Japan Dance Drill Championship / 全日本ダンスドリル選手権大会
2. 期 日 WEST 2020年12月19日(土)
EAST 2020年12月26日(土)
3. 会 場 WEST 南海浪切ホール(大阪府岸和田市港緑町1-1)
EAST 舞浜アンフィシアター(千葉県浦安市舞浜2-50)
4. 主 催 NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン
5. 大会参加費 団体一部門毎、参加者一名につき4,000円。補欠も一名につき4,000円。
1エントリーにつき4名以上(3名以下でのエントリー不可)
6. エントリーについて
 - ① エントリー受付
 - * エントリー総数に上限があります。エントリー申込は先着順となります。
(予定エントリー定数はWEBにてご確認ください)
 - * エントリーはWEB上のフォームで行う、1.チーム登録とExcelフォームで行う2.選手登録の二段階になります。
 - * 1.チーム登録及び2.選手登録の受付をもってエントリーとします。
 - ② 複数部門へのエントリー
 - * 1名につき2エントリーまで可。
 - * 複数部門に出場する場合は、重複関係がわかるよう2.選手登録フォームに記載すること。
 - ③ エントリー方法およびエントリー期間
 - * 特設ページ([こちらをクリック](#))より参加希望の日時・会場を選択の上、1.チーム登録を行ってください。
WEST申込 2020年11月2日(月)15時より11月6日(金)17時まで
EAST申込 2020年11月10日(火)12時より11月13日(金)17時まで
 - * 2.選手登録フォームは1.チーム登録をした団体にメールにてご案内します。
 - * エントリー受付後、大会事務局より確認メールを送信します。順次確認メールを送信しますので、電話でのお問い合わせ・受付前に入金は行わないでください。
 - * 申込期間中でもエントリー定数に達した時点でエントリーを締め切ります。
 - ④ エントリーの注意事項
 - * 1.チーム登録フォームに入力漏れ、不備があった場合は**無効**とします。
 - * 2.選手登録フォームは **Excel形式**のみ受付致します。Numbers・PDF等その他のファイル形式では受付出来ません。
 - * エントリー後の増員、メンバー変更は認めない。

- * 同一内容のエントリーを複数人で行った場合、同一団体からのすべてのエントリーを**無効**とします。
- * 1.チーム登録後の大会区分・出場日の変更は出来ません。

7. 実施部門及び編成

① 実施部門

POM 部門・HIPHOP 部門・JAZZ 部門・Dance Drill 部門

② 編成と出場資格

編成	出場資格
Mini	出場選手全員が小学校4年生以下
Youth	出場選手全員が小学校6年生以下
Junior	出場選手全員が中学生以下
Senior	出場選手全員が高校生以下
Open	年齢による出場制限なし

- * 出場編成は年長者の出場選手に合わせること
- * 参加数が多い部門は人数により Small 編成、Large 編成に分ける場合がある。

8. 演技時間 2分15秒以内

9. 表彰について

① 〈部門賞〉

各部門1位から3位を表彰する。

② 〈総合〉

部門全てを通じて最高得点団体をグランドプライズ(1位)として表彰する

10. 演技フロア

- a) 演技フロアのサイズについては別紙を確認して下さい。
- b) 演技フロアの中央に縦のラインを引く。さらにセンターポイントとして横に1mラインを引く。
- c) 全ての演技は演技フロアの中で行わなければならない。
ただし、ラインオーバーによる減点はありません。
- d) 演技フロアの保護のため、出場選手はピンヒール等、床に傷のつく恐れのあるシューズを着用してはならない。
また演技に使用するバトン、プロップ等にはゴム等を装着し床に傷を付けない工夫をすること。

11. 音源について

- 音楽ファイル形式のデータ (WAV、AIFF、WAV、AAC、MP3 など)
- 編曲されている場合でも1曲として編集すること。
- ファイル名を「出場日」、「エントリーNo.」、「出場部門」、「チーム名」に変換すること。
例：20201219_01_POM_ダンスドリルチーム
- 音楽データはタイムテーブル発表後、大会の一週間前までに別紙「大会使用音楽届出」に必要事項を入力の上、まとめてエントリーと同様のメールアドレスまで提出してください。
提出はメール添付もしくは Dropbox リンクを利用すること。

- 出場に関する留意事項
曲の歌詞は、全ての観客が聞くに相応しいものであるよう、最大限の努力をすること。
日本語以外の歌詞の楽曲を使用する際はその歌詞に不適切な言葉がないか必ず確認をすること。

12. 競技ルール

① 審査のポイント

	テクニックの実施	グループでの実施	振付	全体の印象				
	30点	30点	30点	10点				
POM	<ul style="list-style-type: none"> ● カテゴリースタイルの実施 POM モーションテクニックの質：正しい形、コントロール、正確さ、強さ、完成度。	<ul style="list-style-type: none"> ● 動きの実施 強さ、迫力、正しい形、コントロール、存在感を伴った動きの実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 同調性/音楽とのタイミング チームメンバーの同調性。音楽との同調性	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽性 音楽のアクセント、リズム、テンポ、フレーズ、歌詞、スタイルをいかしたクリエイティブでオリジナリティのある動き				
HIP HOP	<ul style="list-style-type: none"> ● カテゴリースタイルの実施 本物のヒップホップ/ストリートダンススタイルの質。グルーブ感				<ul style="list-style-type: none"> ● 動きの均一性 全員の動きの均一性(クリーン、クリアー、正確)	<ul style="list-style-type: none"> ● フロアの使用/視覚的効果 スムーズな移動と様々なフォーメーションの利用。グループワーク、パートナーワーク、フロアワーク、リフト、高さの変化、などを使用した視覚的インパクトのあるステージング。		
JAZZ	<ul style="list-style-type: none"> ● カテゴリースタイルの実施 動きの連続性。スタイル実施の質、引き上げ、押し出し/身のこなし。						<ul style="list-style-type: none"> ● 位置間隔 パフォーマンスエリアにおける、ルーティン中、移動中における選手間隔の均一性	<ul style="list-style-type: none"> ● 動きの複雑性 テンポ、体重移動、方向転換、接続性、連続性、動きの複雑さなどの動きの難度。正しいテクニカルの実施に基づくスキルの難度。
Dance Drill	<ul style="list-style-type: none"> ● カテゴリースタイルの実施 Dance Drill のスタイル (プロップ・ミリタリー・メジャーレット・ショートフラッグ・ノベルティなどの正確な実施)							
			<ul style="list-style-type: none"> ● 計画性 					
			<ul style="list-style-type: none"> ● 観客へのアピール 					
			<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽・衣装・振付・メイクがダンサーの年齢に適正か 					

② セーフティガイドライン(安全規定)

本大会では、安全に競技を行うために下記のセーフティガイドライン(安全規定)を設定する。

(1) POM 部門・JAZZ 部門・HIPHOP 部門

上記三部門は国際チア連合(ICU)により規定されたルールに則って行います。

[こちら](#)よりセーフティガイドライン(安全規定)をご確認ください。

(2) Dance Drill 部門

A) ピアス、イヤリングは禁止。

B) ポンポンやプロップを持った状態での演技フロア上での体重をかける技やタンブリングは禁止 (ストールなどを含む)。(例外：前転・後転は認められる) 体重をかける技

は何も持っていない状態の手で演技フロアに接していること。

全体重を他のメンバーにかける場合も、手に何も持っていない状態で行うこと。

※リフトの上に乗るメンバーが土台のメンバーに全体重をかけてから上に乗る場合も素手で行うこと。

C) 空中で回転を伴うアクロバット技については一人で行うこと。

(バックフリップ、側宙、バク転、前方転回など)

人の上に乗る場合必ず出場メンバー内で補助をつけること。(肩、背中、手、膝など)
人の上から飛び降りるのは禁止。

但し、ジャンプの踏み切りから着地まで補助があれば実施可能(リフトとみなす)

※トータッチジャンプをするメンバーの腰を土台のメンバーが支えて実施するのは可。

D) その他、審判員が危険とみなした行為。

13. ペナルティ (全部門共通)

- ① エントリー資格を有さない者が出場した場合。(失格)
- ② エントリーした選手以外、または多い人数が出場した場合。(失格)
- ③ 演技時間の超過があった場合は以下の通り結果より減点する。(5~10秒超過は1点減点、11秒以上超過は3点減点)
- ④ 10項 c)の内容が守られなかった場合、ポイントでのペナルティが課せられることはないが、悪質な違反と見なされた場合には、失格となることがある。
- ⑤ 演技フロア保護の為の処置がされていなかった場合。(失格および修繕の為の実費請求)
- ⑥ 前項のセーフティガイドラインが定める禁止事項一人一回の実施につき結果より5点減点する。

14. その他

新型コロナウイルスの感染防止の為に、厚生労働省、文部科学省、スポーツ庁をはじめ都道府県や市区町村、選手が所属する学校等が定めたガイドラインを参考に大会へ向けた練習を行ってください。必ずしも難度の高さが評価につながるものではありません。

〈推奨しない演技内容〉

- 選手同士が接触する行為
- 選手同士が向き合う行為
- 選手同士でバトンやフラッグ、プロップ等を共有する行為

上記に関して、実施しても減点・ペナルティはありませんが、感染防止を念頭にチーム責任者・選手・保護者の理解の元に実施内容を検討してください。

15. 大会に関するお問い合わせ

NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン

〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-5-20 押田ビル 3F

TEL 03-3556-6080 FAX 03-3556-6139

ホームページ <http://www.dancedrilljapan.com/>

問い合わせメールアドレス：info@dancedrilljapan.com